

## 49 マスク考



市内の小学校でも児童や職員の新型コロナウイルス感染陽性反応者がすでに出っていますが、感染が判明した学校のその後の対応や取り組みには、それぞれの学校によって違いがあるということが分かっています。

休校措置に関しては、各区の福祉保健センター(保健所)が行う、感染経路や濃厚感染者等の確認や消毒等の対応によって日数が変わってくるとのことです。また学級閉鎖や学年閉鎖などの判断としては、喫食時間以外のマスクの非着用状態がどうであったかということが大きな目安の一つとして取り上げられるということです。マスクの効果云々については、様々な情報が飛び交ってはいますが、飛沫を抑止するという意味では、感染を拡大させない手段としてはやはり大切なことだと感じました。

一方で、マスクについては、発達障がい、感覚過敏、脳の障がい、皮膚炎、呼吸器の病気等でマスク着用が難しい方がいらっしゃいます。そういった方々に対して、マスクを着用していないことによるトラブルも発生しているとのこと。学校も含め、社会全体としてこうしたことも理解していかなければならないです。

